

アフリカから17人が来町

JICA青年研修で葉山風力発電所を視察

8月31日(水)に独立行政機構JICA(四国支部)が主催する青年研修事業(NPOひろしまセンター)が受託でアフリカから17人の方が来町されました。

この研修は日本における再生可能エネルギーのノウハウを学び、アフリカの再生可能エネルギー導入に活かしていくことを目的に開催されました。

午前中は風力発電所の事業主である(株)ガスアンドパワーの社員の方にご来町いただき、風力発電施設の概要や構造の説明を始め、現地の視察が行われました。午後は津野町の概要や葉山風力発電所に関する町の役割や取り組みなどを説明し、皆さんからは「どうやって送電しているか」「補



天候に恵まれ、発電施設も一望できました



貝ノ川地区集会所で交流を図りました



翻訳資料の提供や通訳の方のサポートにより充実した講義となりました

修はどのようにしているか」「建設地の調査はどのように行ったのか」などご質問も多くいただきました。最後には貝ノ川地区の棚田を散策され、地区のみなさんとの交流も図っていただき、みなさん笑顔で津野町を後にしました。

(企画調整課)

修道館50周年記念

第3回全四国オープントーナメント 修道館空手道選手権大会

9月4日(日)津野町葉山運動公園総合センターにおいて、第3回修道館空手道選手権大会が開催されました。四国内外より参加した、幼年から一般までの選手総勢116名によって、熱戦が繰り広げられました。なお津野町の「修道館葉山道場」より参加した7名の選手の内、型試合では笹岡由菜選手(津野町)が小学4年生女子の部において第2位、組手試合では合田泰喜選手(須崎市)が幼年長男子の部、第2位に入賞しました。

大会開催にあたり、たくさんの方のご協力また、ご声援を賜り誠にありがとうございました。(沖縄正統修道館空手道連盟 代表・笹岡万穂)



開会式の様子



入賞した2名

【左:笹岡選手 右:合田選手】



熱戦を繰り広げる選手たち

人権サミットin高吾

8月26日(金)役場本庁舎多目的ホールで、高岡地区市町村教育委員会連合会などの主催による「人権サミットin高吾」が開催されました。

この研修は、人権教育の推進と充実に目的に、関係者が一堂に会し情報交換を行う場として、毎年開催されています。

今回は、プール学院大学(大阪府堺市)の長尾彰夫教授による「人権教育・人権行政って何やねん!」と題した講演が行われました。

長尾教授は、長年の教員生活の経験に基づいた見識を述べ、人権問題の現実をしっかりと捉えて、人々が直面した問題を自ら乗り越える力をつけることを目標とした取り組みの必要性を説きました。そのうえで、今年3月に改定された高知県人権教育推進プランの概要に触れ、取り組みの検証をしっかりと行い、すべての人の人権が大切にされて、安心して暮らせる地域をつくりあげてほしいと、提言をいただきました。

この研修会には、教育関係職員だけでなく人権擁護委員の皆さまにもご参加いただきました。今後におきましても、より良い地域づくりに向けた連携強化につなげていきたいと考えております。

高知県人権教育推進プラン(改定版)
高知県人権教育課HP

(生涯学習課)

